

**製品名: ZAP-70 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21087**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:70kD;Observed MW:70kD

**抗原情報**

遺伝子名	ZAP70
別名	ZAP70;SRK;Tyrosine-protein kinase ZAP-70;70 kDa zeta-chain associated protein;Syk-related tyrosine kinase
遺伝子 ID	7535.0
SwissProt ID	P43403
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

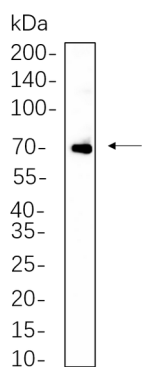
**背景**

細胞局在:細胞質。細胞膜; 膜タンパク質。静止期 T リンパ球では細胞質内に存在する。TCR が活性化されると、CD247/CD3Z と相互作用して細胞膜にリクルートされる。免疫シナプスでは RHOH と共局在する。RHOH は、胸腺細胞の細胞膜および細胞骨格分画への適切な局在に必要である (相同性による)。この遺伝子は、タンパク質チロシンキナーゼファミリーに属する酵素をコードし、T 細胞の発達とリンパ球の活性化に関与する。T 細胞抗原受容体 (TCR) 刺激によりチロシン残基がリン酸化されるこの酵素は、Src ファミリーキナーゼである Lck および Fyn と組み合わせて、TCR を介したシグナル伝達の初期段階で機能する。この酵素は胸腺細胞の発達にも不可欠である。この遺伝子の変異は、CD8 陽性 T 細胞の選択的欠損を特徴とする重症複合免疫不全症である選択的 T 細胞欠損症を引き起こす。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



EL-4-B5 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を ZAP-70 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。